

【第5章 分野別計画】

- (1) 分野別計画の記載内容
- (2) 政策・施策体系(現時点案)
- (3) 9政策・37施策・成果指標等

(1) 分野別計画の記載内容

● 分野別計画

- ・9政策ごとに、当該政策の「背景や方向性目標値(政策KGI)、県民の主な役割を記載
- ・さらに、それぞれの政策実現の手段となる37施策(具体策等)について、各政策の下に記載
- ★ 県民、特に若者に手に取ってもらえる、中高生に分かりやすく、大学生に興味を引くような記載をめざす。

① 政策

背景	◎改善すべき地域課題、各部局が把握している県民ニーズや意向も踏まえた現状
政策の方向性	◎上記背景を踏まえて、この4年間で県として対応すべき課題を記載
2040年の目指すべき姿	◎2040年に実現したい愛媛の姿を言葉で表現
目標値(政策KGI)	◎この政策において達成を目指すべき成果指標と数値目標
県民等に期待すること	◎上記政策KGIの目標値の達成に向けて、県民、企業、関係団体、大学等の各主体に対し、期待する役割を記載 ※新総合計画は、「県民共有の指針」として位置付け、政策・施策で掲げる各成果指標の目標を達成するためには県民の協力が不可欠であるため、設けるもの

② 施策

現状	◎この施策を設定し、推進することとなる現状を記載
課題	◎上記現状を踏まえて、県として対応すべき課題を記載した部分
成果指標	◎この施策において達成を目指すべき成果指標と数値目標を記載した部分 (今回は、可能なもののみ、基準値を記載)
施策の方向性と主な県の取組み	◎この4年間で上記課題に対処するための方向性と具体的な取組みを記載した部分 (計画期間における新たな取組み、従前の取組みの拡充、知事公約に係る取組みなど) 施策を推進する上で中心となるものを記載し、個別の事業レベルの記載にはしない。

(2) 政策・施策体系（現時点案）①

愛媛づくりの方向性 (3分野)	政 策		施 策	
		政策名		施策名
1 【人】 次世代を育み、誰もが自分らしく活躍でき人を惹きつける住み続けたい愛媛県	1	人を惹きつける住み続けたい愛媛づくり	1	愛媛ファンづくりと移住促進
			2	魅力ある地域の基盤づくりと地域への定着の推進
			3	若者が活躍できる雇用環境の整備
			4	男女がともに活躍できる雇用環境の整備
			5	結婚から妊娠、出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援
	2	誰もが健康で豊かな生活を送ることができる愛媛づくり	6	生涯を通じた健康づくりの推進
			7	シニアが活躍できる社会の推進
			8	障がいのある人が活躍できる社会の推進
			9	スポーツや文化芸術などの充実
			10	子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供
2 【経済】 新技術や新産業による地域産業のイノベーションと国内外からの活力を取り込み、“稼ぐ力”と県民所得が向上した愛媛県	3	子どもたちのたくましい成長を支える教育立県えひめの実現	11	安心・安全で魅力ある教育環境の整備・充実
			12	特別支援教育の充実
			13	全ての子どもたちの学びの保障
			14	教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
			15	新技術の研究・開発の推進
	4	地域の稼ぐ力と県民所得の向上	16	製造業・サービス産業の成長促進と新企業の誘致
			17	農林水産業の生産振興
			18	県産品の販売力強化
			19	インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み
			20	本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進
5	交流人口拡大による国内外からの活力の取り込み			

3

(2) 政策・施策体系（現時点案）②

愛媛づくりの方向性 (3分野)	政 策		施 策	
		政策名		施策名
3 【暮らし】 県民の暮らしの安心安全と快適が自然と調和した持続可能な愛媛県	6	誰もが安心して暮らせる社会づくり	21	障がい者が安心して暮らせる社会の実現
			22	高齢者が安心して暮らせる社会の実現
			23	様々な困難を抱えている人を地域ぐるみで支える社会の実現
			24	児童虐待防止と社会的養育の充実
	7	地域の都市機能の維持・最適化	25	暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備
			26	公共施設の適正なマネジメント
			27	住民の暮らしを便利にするスマート行政の実現(DX)
			28	県民の暮らしを支える行財政改革
	8	県民の命を守る危機管理体制の充実	29	大規模災害に備えたまちづくり
			30	医療体制の整備
			31	新興感染症への備え
			32	犯罪に強い安全な社会の確保
			33	交通安全対策の推進
			34	公衆衛生の向上と消費者の安全確保
	9	環境と共生する社会の実現	35	地球温暖化対策への取組み
36			循環型社会の構築と良好な生活環境の保全	
37			自然との共生	

4

(3)9政策・37施策・成果指標等

政策 1 人を惹きつける住み続けたい愛媛づくり

【意 図】

若年層が性別に関わりなく、希望に合った仕事や家庭生活を送り活躍できる環境を整えることで、本県への移住定住を促進し、本県人口が維持されています。

【K G I】

●人口数

【基準値】 1,334,841人（令和2年）

●出生数

【基準値】 8,011人（令和3年）

●社会増減数(転出超過の解消)

【基準値】 2,522人転出超過（令和3年）



施策名	KGI	施策の方向性
1 愛媛ファンづくりと移住促進 【意図】 地域と都市部の継続した交流により関係人口が増え、移住者が増加しています。	●転入者増 【基準値】 16,724人（令和4年）	①U I ターンの推進 ②愛媛ファンの創出による地域の活性化 ③効果的な情報発信・セールス活動
2 魅力ある地域の基盤づくりと地域への定着の推進 【意図】 地域への愛着と誇りを持って地域に自ら関わるシビックプライドが醸成され、県民の地域への定住意向が高まっています。	●これからも愛媛に住み続けたいと思う県民の割合(アンケート) 【基準値】 82.5%（令和4年） ●高校生の地域への愛着度(高校生アンケート) 【基準値】 〇〇（令和4年）	①個性ある地域づくりの推進 ②シビックプライドの醸成と定住意欲の向上支援 ③プロスポーツによる地域活性化 ④地域課題の解決を担うNPO法人の確保 ⑤社会総がかりで取り組む教育の推進
3 若者が活躍できる環境の整備 【意図】 県内の企業や事業所では、働きやすく魅力ある職場づくりが進み、若者が県内に就職・定着し、活躍しています。	●15～29歳の若者の転出者減 【基準値】 10,861人（令和4年） ●若者(大学生等+高校卒業者)の県内就職率 【基準値】 高校79.9%（令和3年） 大学等53.4%（令和3年） ●若者が活躍できている社会になっていると思う人の割合(アンケート) 【基準値】 〇〇%（令和4年）	①若者の地元定着支援 ②若者の県内就職への意識醸成 ③県内建設業者の維持・確保
4 男女がともに活躍できる雇用環境の整備 【意図】 性別に関わりなく個性と能力を發揮でき、仕事と家庭の両立ができる対等な雇用環境になっています。	●女性の一般労働者の給与額と男性の一般労働者の給与額の差 【基準値】 80.4万円（令和3年） ●雇用環境と賃金に関する女性の満足度(アンケート) 【基準値】 〇〇（令和4年）	①仕事と家庭の両立支援・女性活躍の推進 ②男女共同参画社会づくり ③ひとり親家庭の経済的自立に向けた就業支援
5 結婚から妊娠、出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援 【意図】 結婚や妊娠・出産を希望する男女が結婚でき、安心して産み育てることができる社会になっています。	●合計特殊出生率 【基準値】 1.40（令和3年）	①結婚の希望を叶える支援 ②妊娠・出産支援 ③子育て支援の充実

政策2 誰もが健康で豊かな生活を送ることができる 愛媛づくり

【意図】

仕事や家庭以外に誰もが生涯を通じて健康で、余暇時間を豊かに過ごしなが
ら、自分の能力を発揮して活躍できる社会になっています。

【K G I】

●健康に問題がないと回答した人
(アンケート)

【基準値】〇〇% (令和4年)



7

施策名	KGI	施策の方向性
6 生涯を通じた健康づくりの推進 【意図】 生涯にわたって身近にスポーツに親しむことができる環境が整うとともに、心身の健全な発達、健康の保持・増進や生きがいづくりが推進され、健康寿命が延伸しています。	<ul style="list-style-type: none"> ●成人の週1日以上スポーツ実施率 (アンケート) 基準値】56.3% (令和4年度) ●今年定期健康診断やその他特定検診を受診した県民の割合(アンケート) 【基準値】〇〇% (令和4年) 	①生涯スポーツの推進 ②障がい者に対するスポーツの振興 ③生涯を通じた健康づくりの推進 ④がんや心疾患の死亡率軽減に向けた取り組み
7 シニアが活躍できる社会の推進 【意図】 高齢者が仕事や地域の活動に参加できる環境を整えることで、高齢者が一層活躍できる社会になっています。	<ul style="list-style-type: none"> ●65歳以上の労働者率 【基準値】4.19% (令和3年) ●地域社会活動に参加している割合 (アンケート) 【基準値】〇〇% (令和4年) 	①愛媛県シルバー人材センターを核とした高齢人材の就業支援
8 障がいのある人が活躍できる社会の推進 【意図】 障がいのある人が、施設ではなく地域で生活できるようになり、民間企業等で雇用され、自立した生活を営める社会になっています。	<ul style="list-style-type: none"> ●働く障がい者率 【基準値】5.98% (令和3年) ●福祉施設入所者の地域生活への移行者数 【基準値】9人 (令和3年度) 	①障がい者の就労支援 ②民間企業への障がい者雇用に向けた理解促進 ③障がい者の地域生活の支援促進
9 スポーツや文化芸術などの充実 【意図】 文化・芸術・スポーツ活動等の余暇活動のコンテンツを充実させ、仕事以外の活躍の場が整っています。	<ul style="list-style-type: none"> ●余暇活動の内容 (アンケート) 【基準値】〇〇% (令和4年) 	①競技力の向上及びジュニアアスリートの発掘・育成・強化 ②文化芸術活動の推進 ③生涯学習の推進 ④文化財の保存・活用の推進

8

政策3 子どもたちのたくましい成長を支える教育立県えひめの実現

【意 図】

子どもたちが、夢や目標の実現に向け、自らの発想と力で課題を乗り越え、地域社会の良き創り手としてたくましく成長できよう、必要な教育が受けられています。

【K G I】

- 公立小・中学校（県立中等教育学校前期課程を含む）の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較

【基準値】 ・小学校：100.8割（令和4年）
 ・中学校：100.0割（令和4年）

- 課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組む児童生徒の割合の全国平均との比較

【基準値】 ・小学校 95.1割（令和4年）
 （本県73.5% 全国77.3%）
 ・中学校 94.8割（令和4年）
 （本県75.1% 全国79.2%）

- 高校卒業予定者の進学及び就職希望者の希望達成度(アンケート)

【基準値】 未確定（令和4年）



施策名	KGI	施策の方向性
10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 【意図】 一人ひとりの能力や適性に応じた学びが提供され、予測が難しい時代をたくましく生き抜く力を得られるよう、教育内容が充実されています。	<ul style="list-style-type: none"> ●将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 【基準値】未確定（令和4年） ●受けた授業は、自分にあった教員、教材、学習時間などによって、と感ずる児童生徒の割合の全国平均との比較（全国学力・学習状況調査） 【基準値】 ・小学校：100.9ポイント（令和4年） ・中学校：99.9ポイント（令和4年） ●公立高校における生徒の教育内容満足度（アンケート） 【基準値】未確定（令和4年） 	①確かな学力の定着・向上と豊かな心のかん養 ②健やかな体を育てる教育の推進
11 安心・安全で魅力ある教育環境の整備・充実 【意図】 子どもたちが安全に安心して学ぶことができるよう魅力的な学校施設、設備、衛生環境が整備されています。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校管理下における事故・災害等の件数（日本スポーツ振興センター） 【基準値】9,843件（令和3年） 	①学校施設・設備の充実 ②学校での安全教育の推進
12 特別支援教育の充実 【意図】 一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな支援体制の整備・充実を図ることで、障がいのある子供たちが安心して学び、その能力を十分に発揮できる教育が推進されています。	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校卒業予定者の進学及び就職希望者の希望達成度(アンケート) 【基準値】未確定（令和4年） 	①特別支援教育に係る人材の充実 ②特別支援教育に係る環境の充実 ③特別支援教育に係る内容の充実
13 全ての子どもたちの学びの保障 【意図】 いじめや不登校の未然防止や早期解決に取り組むほか、不登校児童生徒の多様な教育機会を確保するなど、安心して学べる環境が整備されています。	<ul style="list-style-type: none"> ●1,000人当たりの不登校児童生徒数の全国との比較（児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査） 【基準値】 ・小・中学校：本県22.0人 全国25.7人（令和3年） ・高校：本県16.5人 全国16.9人（令和3年） 	①いじめの未然防止や相談・ケア体制の整備・充実 ②不登校児童生徒への相談支援や多様な教育機会の充実 ③困窮家庭への経済的支援 ④人権・同和教育の充実
14 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 【意図】 教職員の資質・能力を向上させるとともに、学校における働き方改革を進め、教職員が子どもたちに向き合う時間を増やし、質の高い教育が提供されています。	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒の授業の理解度の全国平均との比較（全国学力・学習状況調査） 【基準値】（令和4年） ・小学校：97.5ポイント ・中学校：96.2ポイント ●県立高校の生徒の授業の理解度（アンケート） 【基準値】未確定（令和4年） 	①教員の業務負担の軽減 ②教職員の資質向上

政策4 地域の稼ぐ力と県民所得の向上

【意図】

新たなイノベーションにより、県内の地域産業が強化・成長・発展しています。また、交流人口の拡大により県民の経済的豊かさが向上した社会になっています。

【KGI】

●1人当たりの県民所得

【基準値】271.7万人
(令和元年)



11

施策名	KGI	施策の方向性
15 新技術の研究・開発の推進 【意図】 産学官及び異業種との連携や、新たな技術や品種の開発と普及により、県内産業の競争力と収益性が向上しています。	●全国の知的財産権登録件数に占める県内知的財産権登録件数の割合 【基準値】0.6% (令和3年)	①知的創造性の高い新技術の創出 ②農林水産新技術の開発・普及 ③産業技術の開発・普及
16 製造業・サービス産業の成長促進と新企業の誘致 【意図】 時代に即した高付加価値を創出する起業・創業支援や企業誘致をすることで、稼ぐ力と産業構造の強化されています。	●県内製造業の従業員一人当たりの付加価値額 【基準値】1187.4万円 (令和元年) ●県内サービス業の従業員一人当たりの付加価値額 【基準値】2073.7万円 (令和元年)	①産業人材力の強化 ②地域産業の維持・振興 ③新産業の創出と企業誘致・留置の推進
17 農林水産業の生産振興 【意図】 意欲あふれる多様な人材に支えられた“儲かる”農林水産業が確立しています。	●農業産出額 【基準値】1,226億円 (令和2年) ●林業・木材産出額 【基準値】427億円 (令和2年) ●漁業産出額 【基準値】770億円 (令和2年)	①担い手確保・育成と組織化・法人化支援 ②生産力の強化 ③農林水産物の安全・安心に向けた取組み ④生産基盤等の整備
18 県産品の販売力強化 【意図】 信頼と愛着のもてる「愛媛ブランド」の確立により、国内外で選ばれる産地になっています。	●県営業本部関与成約額 【基準値】225億円 (令和3年度) ●県産品の輸出額 【基準値】〇億円 (令和4年)	①県営業本部の営業力強化と市場開拓 ②ものづくり分野に特化した販路開拓支援と産業構造の強化 ③農林水産物に特化したブランディング・販路開拓支援

12

政策5 交流人口拡大による国内外からの活力の取り込み

【意 図】

本県ならではの観光資源をブラッシュアップし、世界に通用する観光地になることで、人が賑わい地域経済が活性化しています。

【K G I】

● 県内観光客観光消費額(県公表)

【基準値】 1,174億円 (令和元年)

※コロナ前を基準



13

施策名	KGI	施策の方向性
19 インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み 【意図】 空港等の利便性の向上や効果的な情報発信・魅力的なコンテンツの提供により、国外からの誘客が図られています。	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人延べ宿泊者数(県公表) 【基準値】 216千人 (令和元年) ●外国人観光客消費額(県公表) 【基準値】 49億円 (令和元年) 	①海外との往来を支える基盤整備 ②外国人観光客の誘客力強化とM I C Eの推進
20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 【意図】 住民主体のまちづくりと魅力的なコンテンツの開発により、他地域との差別化を図り、国内観光客が多数訪れています。	<ul style="list-style-type: none"> ●日本人延べ宿泊者数(県公表) 【基準値】 4,529千人 (令和元年) ●日本人観光客消費額(県公表) 【基準値】 1,125億円 (令和元年) 	①地域資源の磨上げと戦略的なブランディング ②地域住民主体の魅力ある観光まちづくりの推進 ③観光基盤の整備

14

政策 6 誰もが安心して暮らせる社会づくり

【意 図】

県民が暮らしに困難を抱えても安心して生活できる福祉環境が整っています。

【K G I】

- 基本的な福祉の質が維持・継続されていると思う人の割合
(アンケート)

【基準値】 〇〇% (令和4年)



- 生活するうえで困難を抱える人(障がい、独居老人、介護、生活困窮、社会的孤独等)が地域にいる際、本人やその家族から相談や協力の依頼があれば支援をしたいと思う県民の割合(アンケート)

【基準値】 〇〇% (令和4年)

施策名	KGI	施策の方向性
21 障がい者が安心して暮らせる社会の実現 【意図】 障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる福祉環境が整備されています。	● 障がい者福祉等のサービスを利用して いる県民の不自由度 (アンケート) 【基準値】 〇〇 (令和4年)	① 障害福祉サービス事業所の充実 ② 障害福祉サービスに携わる職員の充実 ③ サービスの安定的な提供に向けた支援措置
22 高齢者が安心して暮らせる社会の実現 【意図】 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できる共生社会が実現しています。	● 地域の介護サービスの充実度 (アンケート) 【基準値】 〇〇 (令和4年) ● 介護職員の充足率 【基準値】 〇〇 (令和4年)	① 介護サービス提供体制の充実及び質の向上 ② 介護人材の確保・資質の向上及び業務の効率化確保の取組み ③ 自立支援・介護予防・重度化防止の推進及び介護サービス利用者に対する支援等
23 様々な困難を抱える人を地域ぐるみで支える社会の実現 【意図】 生きるために様々な困難を抱えている人を地域ぐるみで支援する温かい社会になっています。	● 自殺者数(人口10万人当たり) 【基準値】 16.7人 (令和3年) ● 悩みを抱える人の支援体制が整備されていると思う人の割合 【基準値】 〇〇% (令和4年)	① 人権を尊重する社会づくり ② ドメスティック・バイオレンス (DV)、性暴力等への対応 ③ 犯罪被害者等への支援 ④ セーフティーネットの適切な提供による自立支援の促進 ⑤ 多様な主体が参画する地域づくり
24 児童虐待防止と社会的養育の充実 【意図】 保護を必要とする児童が安心して保護され、支援される福祉環境が整備されています。	● 社会的養護を必要とする児童の割合 【基準値】 0.270% (令和4年) ● 里親等委託率の上昇 【基準値】 24.7% (令和4年) ● 児童養護施設等退所予定児童の進学及び就職希望者の希望達成度 【基準値】 〇〇 (令和4年)	① 児童虐待の防止 ② ヤングケアラーの支援

政策 7 地域の都市機能の維持・最適化

【意 図】

人口減少下にあっても、人口規模に応じた適正な都市機能を維持しています。財源やマンパワーの不足が懸念される行政についても行財政改革とともにスマート行政を推進することでより質の高い住民サービスが実現されています。

【K G I】

●施策 K G I ダイアグラム評価

- ①地域交通
- ②県有施設
- ③公共施設
- ④デジタル進捗率
- ⑤行革大綱達成率

【基準値】 〇〇%（令和4年）



17

施策名	KGI	施策の方向性
25 暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備 【意図】 どの地域に住む人でも、不自由なく移動できるような交通体系が確保され、新たな人の流れや地域間交流の促進のための基盤や安全な移動・生活空間が整備されています。	●県内・生活圏内の移動に支障がないと感じている人の割合(アンケート) 【基準値】 〇〇%（令和4年）	①県内・地域交通ネットワークの安定的な確保 ②広域・高速道路ネットワークの整備 ③生活圏域道路の整備 ④都市の機能性・安全性・利便性及び快適性の増進
26 公共施設の適正なマネジメント 【意図】 公共施設が効率的かつ事故なく管理され、県民が安心して暮らせる環境が整っています。	●県の管理する公共施設等で、不安や危険を感じた人の割合(アンケート)	①インフラ施設の適正なマネジメント ②県有財産の適正な管理の推進 ③各インフラの適正管理(県営住宅・道路・河川ダム・港湾・砂防)
27 住民の暮らしを便利にするスマート行政の実現(DX) 【意図】 行政にアクセスしやすい環境が整い、効率的なスマート行政が実現しています。	●デジタル総合戦略の達成率 【基準値】 -（令和4年）	①県民向けDXの推進による利便性・付加価値の向上 ②庁内のDX推進による業務効率化・生産性の向上
28 県民の暮らしを支える行財政改革 【意図】 行財政改革を徹底し、他の自治体等と連携を深め、県の課題に対応できる体制が整っています。	●行政改革大綱における目標設定項目の達成率 【基準値】 68%（令和3年）	①公平・適正な課税と税収確保対策の強化 ②県民に寄り添った政策立案・推進体制の整備 ③適正な人事・組織の構築 ④各主体との連携の推進 ⑤各執行機関(委員会・委員)の適正な執務の遂行

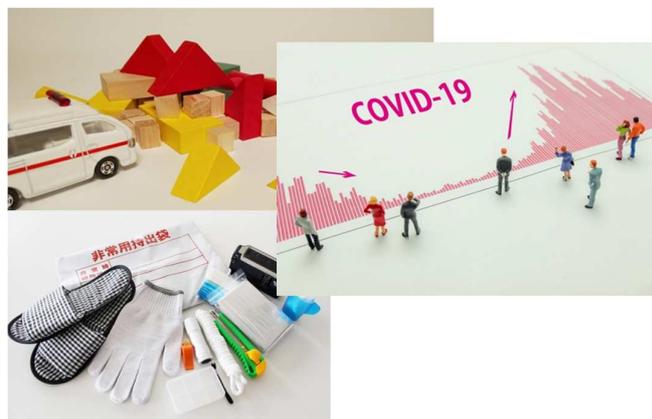
政策 8 県民の命を守る危機管理体制の充実

【意 図】

新興感染症、自然災害などの有事に備えた医療提供体制及び災害に強いまちづくりが進むとともに、自助共助の精神が県民に根付くことで、寿命以外の理由で亡くなる人が少ない社会になっています。

【K G I】

- 感染症・事件・交通事故など寿命以外で亡くなった方の死亡率（人口10万対）の全国順位
- 【基準値】 38位（令和4年）



19

施策名	KGI	施策の方向性
29 大規模災害に備えたまちづくり 【意図】 自助・共助・公助の効果的な組み合わせにより、南海トラフ地震など大規模災害等が発生しても、被害を最小限にとどめることのできる地域になっています。	● 災害想定死者数 【基準値】 16,025人（平成25年）	①河川災害の予防 ②津波・高潮災害の予防 ③土砂災害による人的被害等の軽減 ④道路の防災・減災対策の推進 ⑤民間住宅等の倒壊の予防 ⑥農山漁村地域の防災対策 ⑦原子力発電所に係る安全・防災対策 ⑧防災・減災のための危機管理体制の強化 ⑨災害時の救助・保健・福祉体制の整備
30 医療体制の整備 【意図】 誰もが良質な医療を不安なく受けられる体制が整っています。	● 全死因一(老衰+自殺+事故)の死亡率（人口10万対）の全国順位 【基準値】 37位（令和3年）	①平時の医療体制の確保 ②救急医療体制の確保 ③災害時等の緊急医療の体制確保 ④医薬品等の品質・有効性・安全性の確保 ⑤県立病院の健全な経営
31 新興感染症への備え 【意図】 新興感染症が発生しても対応できる医療提供体制が整っています。	● 新興感染症による死者数 【基準値】 69人（令和3年）	①新型コロナウイルス克服に向けた対応の継続 ②新興感染症への必要な備え ③経済・社会活動を停滞させないための取組み
32 犯罪に強い安全な社会の確保 【意図】 犯罪被害に遭う人が少ない社会になっています。	● 人口千人当たりの刑法犯認知件数 【基準値】 4.52件（令和3年）	①犯罪の起きにくい社会づくり ②犯罪抑止への取組み
33 交通安全対策の推進 【意図】 交通事故による犠牲者の少ない社会になっています。	● 交通事故死者数 【基準値】 44人（令和4年）	①交通事故抑止のための取組み ②県管理道路における安全の確保 ③安全な自転車利用の推進
34 公衆衛生の向上と消費者の安全確保 【意図】 公衆衛生の向上が図られるとともに、不安のない消費生活が送れる社会になっています。	● 県の公衆衛生対策が機能し、衛生環境が保たれていると感じる県民の割合（アンケート） 【基準値】 〇〇%（令和4年） ● 消費者の安全が確保されていると感じる県民の割合（アンケート） 【基準値】 〇〇%（令和4年）	①消費者の安全確保 ②食にまつわる健康被害の防止 ③生活衛生施設における衛生水準の維持・向上 ④薬物・毒劇物等事故防止対策の推進 ⑤人と動物とが共生する豊かな地域社会の実現

政策9 環境を守り自然と共生する社会の実現

【意 図】

環境に優しく脱炭素・資源循環型の社会を推進することで、気候変動(地球温暖化)の影響に適応した持続可能な人間生活や事業活動を営むことができるようになっていきます。

【K G I】

●愛媛県の環境政策に満足している人の割合(アンケート)

【基準値】 〇〇% (令和4年)

●環境に配慮した行動をとっている人の割合(アンケート)

【基準値】 〇〇% (令和4年)

●勤め先において環境に配慮した取組みがあると答えた人の割合(アンケート)

【基準値】 〇〇% (令和4年)



21

施策名	KGI	施策の方向性
35 地球温暖化対策への取組み 【意図】 地球温暖化防止に対する県民一人ひとり意識が高まり、温室効果ガス排出量が減少しています。	●温室効果ガス排出量 【基準値】 16,644 千t-CO2 (令和元年度)	①公共インフラの脱炭素に向けた率優先的な行動の実施 ②民間における再生可能エネルギーの活用促進 ③地球温暖化・脱炭素に向けた啓発の実施
36 循環型社会の推進と良好な生活環境の保全 【意図】 3R及び廃棄物の適正処理により廃棄物の最終処分量が減少しています。また、良好な生活環境が確保されています。	●一般廃棄物の一人1日当たり排出量 【基準値】 886g/人・日 (令和2年) ●産業廃棄物不適正処理事案改善率 【基準値】 92.9% (令和4年) ●大気・水質環境基準達成率 【基準値】 86.3% (令和3年)	①廃棄物の更なる削減 ②廃棄物の適正処理の推進 ③環境基準の維持に向けた大気・水・土壌環境の保全 ④環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進
37 自然との共生 【意図】 豊かな自然環境や多様な生態系が継承されています。	●30b y 30 【基準値】 10% (令和4年)	①豊かな自然環境の保全 ②生物多様性の保全 ③農山漁村の環境保全 ④県民理解に基づく森林の多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進

22